

個人質問

これからの高齢者福祉と障がい者福祉の取り組みを問う！

誠和会……………山口 孝弘



◆高齢者福祉と障がい者福祉の取り組みについて

問 老人保健福祉計画・介護保険事業計画の実績と、第4期事業計画の重点課題について伺う。

市長 第3期事業計画の達成状況は、計画期間内ですが、地域包括支援センター

の設置、介護予防事業及び包括的支援事業の開始など、計画した施策について、目標の達成に向けて着実に取り組んでいるところです。

また、特に重点的に取り組んできた「地域密着型サービス拠点の整備」については、概ね計画に沿って整備が進んでいます。

来年度から始まる第4期高齢者福祉計画・介護保険事業計画については、要介護認定者数の増加傾向が強く、対応に努めます。

軽度者の方ができる限り要支援、要介護状態にならない、あるいは重度化しない介護予防を重視したシステムの確立、高齢者の方ができる限り住み慣れた地域で

の生活が確保できるよう地域密着型サービスの推進、

居宅系サービスの充実、地域包括支援センターを中心としたケア体制を推進しながら、将来的に不足が見込まれる介護保険施設の整備の推進等が重点課題になると考えています。

問 高齢者の虐待防止・早期発見について伺う。

市長 高齢者虐待に関する相談等は、昨年度11件あり、そのうち1件は自宅へ帰すことが望ましくないと判断し、老人福祉法により施設への入所措置をとっています。今年度は、市職員、佐倉警察署、民生委員、介護保険事業所等からなる「高齢者虐待防止連絡協議会」を組織し、関係機関の連携を密にし、早期発見、早期対応に努めます。

問 「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」を市は、どのように評価し、実現していくのか伺う。

市長 住み慣れた地域で、

尊厳を持ち自分らしく暮らしたいと思うのは、全ての人の共通の願いです。そこで、障がいのある方に対する理解を広げて差別をなくし、だれもが暮らしやすい地域社会を作るためにこの条例が制定されました。

差別は気づかずに行われることも多いため、全ての人がお互いの理解を深め、協力し合って進めていくことが重要です。本市では、身体障がい者相談員や知的障がい者相談員を中心として、8名が地域相談員の委嘱を受け、身近な地域の相談役としてご尽力いただいています。今後も、障がいのある人もない人と同様に暮らしることのできるバリアフリーで暮らしやすい社会の実現が図れるよう、本条例の周知に努めていきます。

※その他の質問

◆防犯灯取付位置について

◆ふるさと納税について

個人質問

地域力の向上
くうるおいを与える
元気なまちづくりのために

誠和会……………林 修三



◆地域力活性化について

問 「八街市の日」を制定しては如何か。

市長 市民の日の制定については、近隣では千葉市において、都市への愛着と誇りを持ち、将来の街づくりを考える日として制定しています。「八街市の日」を制定することは、市民の連帯感や一体感を醸成するとともに、八街市の歴史を振り返り、将来のまちづくりを考える日としても意義あるものと考えますので、市民意識の高まりを踏まえつつ、周年記念など節目の事業等の中で検討していきたいと考えています。

問 区、自治会等の加入状況について伺う。

市長 現在、本市には39の区がありますが、平成20年3月31日現在の区への加入率は、世帯数で約60パーセントです。基本的に区は自治組織ですので、市が加入を強制することはできないものと考えていますが、地域としての共通課題を解決

したり、レクリエーション等を通しての親睦、あるいは美化運動、防犯、防災などの活動を積極的に取り組まれており、よりよい地域社会を作るためには、多くの方々の参加と協力が必要であると認識しています。

問 区、自治会等加入促進のための啓発について伺う。

市長 本市転入者に市民課窓口において、区への加入を勧めるパンフレットの配布を行うとともにホームページへの掲載を行っており、各区分長に対しても、自主的に区への加入を働きかけていただくようお願いをしています。今後は、広報やちまたに掲載を予定しており、同じ地域に住む市民の皆様の連帯により地域力の向上が図れるよう、区への加入について啓発していきます。

問 地域の安全を守る消防団の加入状況について伺う。

市長 本市の消防団は定員590人のところ、現在504人の団員が市民の生命、

身体及び財産を守るため、日夜ご尽力いただいています。しかし、近年の社会環境や就業構造の変化等により、消防団員の確保に苦慮しており、中には地区役員や消防団OBの方々に入団していただき、ご協力をいただいている分団もあります。消防団の基本理念である「自分たちの地域は自分たちで守る」ということを広く市民に啓発し、連帯意識の向上と地域社会の関心を高め身近な存在としての消防団を育成、充実させるとともに、各地区役員の方々をはじめ、消防団OB、現職団員の皆様のご協力により、団員確保を図っていきたく考えています。

総務部長 女性の方を受け入れることも検討する段階に来ていると考えています。

※その他の質問

◆国際理解の促進について

◆給食センター運営について

◆特別支援教育について